

令和4年度 ミュージアムを活用した子どもの感性育成事業

目的

- ・本物の芸術と向き合いながら充実した鑑賞活動を行うことを通して、児童の豊かな感性を育む機会を創出する。
- ・図画工作の鑑賞領域における教員の更なる指導力向上に資する。

I 県立美術館での鑑賞活動の様子

令和4年度は、4年生と特別支援学級の児童を中心に、県内13市町の24校を県立美術館に招待し、鑑賞活動を実施しました。

児童は、自分なりの見方や感じ方で作品を鑑賞し、同じ班の児童と感想を自由に伝え合いました。また、振り返りの中で「心に残った作品と心に残った理由」について発表する場をもち、美術館を楽しんだ成果について交流しました。その活動の様子を紹介します。

Step 1

美術館に着いたら、ガイドスタッフとのご対面。はじめの会で鑑賞のめあてと美術館での三つのマナーを確認しました。

【めあて】 展覧会を楽しもう！

【楽しむためのステキなヒント】

- ①からだを使っていろんな見方を試そう。
- ②自分なりの感じ方を大切にしよう。
- ③作品から感じたことを友だちと伝え合おう。

〔美術館での三つの約束〕

- ①作品にさわらない
- ②走らない
- ③大声を出さない



Step 2

展示室では5人以内の班でガイドスタッフと一緒に作品鑑賞をしました。

座って見上げて「あれ？」、手で枠をつくってのぞいて「あっ！」、作品のまねをしてみても「むふふ」など、いろんな声が聞こえてきました。また、感じたことを班で自由に話し、見方や感じ方の違いを楽しみました。

Step 3

展示室から帰ってきて、まずは同じ班のみんなと振り返り。「あの作品が気に入った！」「私はあの作品！」「うちの人に素敵なお土産話ができたかな？」

みんなの前でお土産話をお披露目し、「そうそう」「そうだった！」「こんな感じ」身振り手振りで教えてくれる姿がとても素敵でした。

楽しい時間はあっという間でした。帰るときにはガイドさんとエアタッチ。また来てね！

【新型コロナ感染症対策について】

令和4年度は新型コロナ感染症対策のため、バスを増便、班の人数を5人以内にする、入館時の検温等しました。

30人以上の学校については研修室ではじめの会と振り返りの会をせず、広い空間で行いました。

鑑賞活動の様子



Ⅱ 美術館での鑑賞後の授業実践の報告

小学校学習指導要領（平成29年告示） 図画工作科の「指導計画の作成と内容の取扱い」では、「題材など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、児童の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。その際、造形的な見方・考え方を働かせ、表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習が充実するようにすること」と示されています。また、鑑賞の指導に当たっては、「地域の美術館などを利用したり、連携を図ったりすること」が示されています。

各学校では、美術館で体験した「自分なりの見方や感じ方をもつ」こと、「感じたことを友だちと交流し、感じ方の違いを楽しむ」ことを図画工作の授業でも取り入れ、表現力を高める指導の工夫が求められます。

今年度の参加校も、美術館での鑑賞の活動を受けて、学校で図画工作科の授業実践に取り組み、児童の豊かな感性の育成を目指しました。参加した学校の実践を紹介します。

美術館での体験を表現意欲に繋げている実践 杵築市立山香小学校

【事後実践】 大きな木を想像して描こう

美術館の作品鑑賞で、児童は、一つの色で塗るのではなく、薄めたり、付けたしたりなど多くの工夫をして表現することについて学びました。そこで、美術館で学んだことを生かして作品を彩色する過程で水分量や筆づかい等について工夫しようと呼びかけました。一度塗った色の上から水を多く含ませてぼかすなどすると、木の表面が単色にならずに凹凸や樹皮などが感じられるようになりました。



木の模様が濃いところもあれば薄いところもあるようにしたい！

空の色はだんだんと薄くなるように塗りたい！



材料の魅力やいろいろな表現方法など、美術館で学んだことを生かして、児童の表現意欲に繋げている実践です。新たな技法について学び、今までできなかったことができるようになることで表現の幅が広がり、児童が主体的な姿になってきています。

地域の魅力を再発見する実践 日田市立若宮小学校

【事後実践】 日田の文化財について学ぼう（おとな先生活用事業）

OPAMにて様々な文化財や作品を鑑賞することができ、実りある経験になりました。この経験をきっかけに、自分たちが住んでいる日田市の文化財にも目を向けてほしいと思い、日田市の取組「おとな先生」から日田市文化財課の方を講師に招き、学習しました。



小鹿田焼を実際に触ってみよう！
思ったより軽いよ！！

“とびかな”を使って模様を付けているよ。
ボコボコしているよ！



日田祇園の「山車」など、身近なところにたくさんの魅力ある文化財があることがわかりました。

工芸作品は「使ってみる」ことも鑑賞の在り方の視点として有効です。普段見慣れた小鹿田焼きを「使いやすさ」や「使用目的」等の視点で重みや表面の感触を確かめ、その魅力を再発見しています。地域への愛着にもつながる実践です。



児童の思いを大切にしたい実践 宇佐市立長峰小学校

【事後実践】 立体の制作に挑戦してみよう

日頃、平面作品や紙などの材料から工作をすることが多かったということや、ミュージアムツアーで立体作品に触れることができたことから、自分たちも立体作品に挑戦してみようと粘土で立ち上がる形をつくりました。前後左右、上下などから見て作り、端末で撮影、作品に名前を付けました。実物をみんなで鑑賞し合い、よいところ、面白いところなど一言感想を付箋に書いて渡し合いました。



どんな形にしようかな？粘土をこねこねしながら考えよう！

この角度から見てほしい！



題材の最後に相互鑑賞会をしています。その時に、児童が何を表したかったのがよく分かるように、見て欲しい角度から作品を端末で撮影しています。立体作品はあらゆる角度から鑑賞できますが児童一人一人には「見て欲しい角度」が存在します。児童の表したい事を大切にしたい実践と言えます。



対話による発想の広がりを造形遊びに生かした実践 津久見市立堅徳小学校

【事後実践】 つながれ ひろがれ 段ボール

「みんなで協力して大きな作品をつくりたい」という願いから、段ボールを結束バンド等でつなげていき教室に大きな迷路をみんなでつくる活動を行いました。「こうすると上手くつながるよ」「そのつなぎ方すごいね！」など終始、協力して活動する姿が見られました。



真っ暗だとちがうんだよな。

黒ビニルシートでいい感じの影ができるんじゃない？

本当だ！この薄暗さが洞窟って感じ！

教室ってこんなに広がったかな？段ボールをどんどんつなげるぞ！



中学年の造形遊びでは「この材料とこの場所で何ができるかな？」を考えながら表したいことを立ち上げていく活動です。児童にとってとても身近な「段ボール」という材料、「教室」という場を準備しています。でも「結束バンド」は、初めて扱う児童が多いのではないのでしょうか。程よいハードルをつくって活動させています。「明るい窓際」という場所の特徴も生かしながら活動できている児童もいますね。



児童の思いを大切にした実践 日出町立豊岡小学校

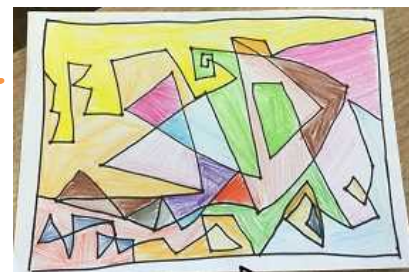
【事後実践】 一筆書きで不思議な絵

枠の中に一筆書きで線を描き、区切られた部屋にいろいろな色を塗りました。描いた線は、直線、曲線、ぎざぎざ、なみなみ、まるまる、かくかく等があり、児童はいろいろな線を組み合わせ、のびのびと描いていました。また、彩色する時にも、色の組合せや濃淡を工夫して塗っていました。最後は、Microsoft Teamsでお互いの作品を鑑賞して感じたことを交流しました。

井 2022年11月15日、14:40
いろんな色を使っていて、すごい

野 2022年11月15日、14:40
ギザギザで面白い

コメントの書ける人は、メッセージ付きで投稿しています。友だちの感想を見て、またほかの友だちからもコメントを送られていました。



友だちとの関わりを苦手とする児童への手立てとして、1人1台端末を利活用しています。一人一人の児童の考えを認め、引き出そうとしていて、表現する上で児童たちの心理的な安心につながっています。

1人1台端末で表現の幅を広げている実践 中津市立和田小学校

【事後実践】 色カードをつったり、ならべたりして、お互いのよさを伝え合おう

指で絵の具を混ぜながら、色、形、組み合わせのおもしろさを感じ、自分なりにつくりたいもののイメージを膨らませました。作品ができあがった後は、お互いの作品のよさを交流しながら、つくりだす喜びを感じ、表現意欲が高まっていました。



いろいろな色を混ぜてみよう！どんな色になるかな？

似た色を繋げてならべてみたらどんな感じになるかな？



作品を写真に撮り、端末上で回転させて、何度もならべ直していました。



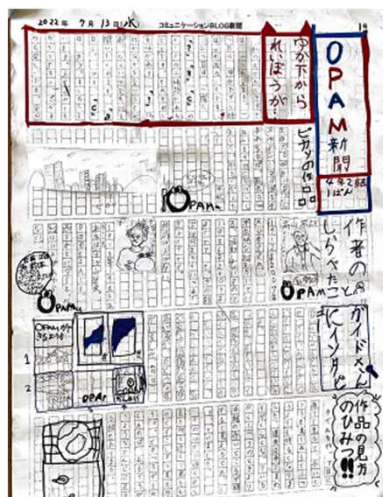
絵の具を指を使って混ぜたり、塗ったりしています。美術館での材料の魅力との出会いを大切にしたい実践です。また、色カードを写真に撮り、傾きを変えながら連続模様をつっているのは、1人1台端末のとても有効な活用だと言えます。何度も画面上でやり直しや試しができるという点でとても有効です。並べ終わった連続模様をA3紙にカラー印刷したら包装紙にもなりそうですね。



教科を横断した実践 由布市立挾間小学校

【事後実践】 美術館で学んだことを新聞にまとめよう

自分のお気に入り作品がそれぞれあって、どの作品のことを掲載するか、一生懸命話し合っている姿が見られました。美術品の見方やお気に入り作品の紹介だけでなく、案内してくれたガイドさんに聞いたことにとっても興味・関心が高く、たくさんのメモを取っていました。



新聞にはおすすめの作品だけでなく、美術館の珍しい構造や、ガイドさんに聞いた話、周辺の文化施設のことなども書かれていますね。「また行ってみたい」「ほかの人にも行ってみたい」という思いが伝わってきます。



「実感」を大切にした実践 佐伯市立明治小学校

【事後実践】 運動場にある自然を使った作品づくり

松の木などに注目し、意外な遊び（葉を使って引っ張り合う）に気付き、こすって匂いを感じることができました。集めた木の実や葉を組み合わせ、葉の形や色をいかして作品の装飾に利用することができました。



美術館にあんな作品があったよね！

お花どうしをつなげてみたら、どんな感じになるのかな？まずはならべてみよう！



いろんな感覚を働かせながら活動しているところがとても素敵ですね。自然を触って、こすって香りを嗅いで、季節を感じて、そこから表したいものを立ち上げていく。ICTの活用が進められている中、図工の授業としては大切にしたい「実感」をあらゆる場面で見ることができる素晴らしい実践です。



他教科の学びをいかした実践 中津市立豊田小学校

【事後実践】 日本のよさを表現しよう

総合的な学習の時間や社会の時間に大分県のよさ、市町村や日本の魅力について調べ、まとめました。子どもたちは、それらを参考にして描きたいものを選択し、平面に表現しました。美術作品の自由な色合いを参考に、見えている色とは違った色で表現する姿が見られました。また、美術館にあったいろいろな鉱石等からつくった色を参考に、お城や湯煙をチョークを削って色付けしていました。



まわりを暖かそうな色でまとめて「かぼす」が目立つようにしよう！

美術館の石みたいに、チョークも粉にして、色塗りに使ってみよう！どうなるかな？



美術館で体験したこと、学習したことを表現意欲につなげています。児童たちの他教科での学びを図工で「価値付け」をして、学びに向かう力を引き出しているとともに「学ぶことの意義」がとても感じられます。



対話により見方や考え方を広げる実践実践 佐伯市立上堅田小学校

【事後実践】 ほって表そう佐伯自慢～オーガニックシティ佐伯・SDGs宣言～

お互いの作品（3年～4年）を鑑賞し合いました。作品を見て気に入ったところや真似したいと思ったところ等の視点を与え、OPAMで学んだ鑑賞の仕方を生かし、友だちと対話しながら鑑賞することができました。



OPAMに行く前は、絵がうまいとか色使いがいいとかで、すごい作品だと考えていたけど、今では不思議だったり、ユニークだったりする作品もいいなあと思うようになりました。

白い色でぱっぱぱと絵の具が散らされていて、本物の宇宙みたい！まるで宇宙を冒険しているよう！



作品の見方や感じ方が広がったことで、表現したいことの広がりも見られるようになっていきますね。用具や材料の使い方もいろいろ工夫していて、自分が表したいことを満足がいくまで追求できたようですね。



児童の興味があることを大切にした実践 宇佐市立宇佐小学校

【事後実践】 お気に入りの名画を探そう～ゴッホ～

美術館見学後、児童たちは絵画に興味をもっていたので、図書室にある画集を教室に置いてみました。ゴッホの絵を見て「この絵、見たことがある」という声が多く聞かれたことから、ゴッホの名画を授業で鑑賞することにしました。ゴッホ独特の色づかいや表現方法に注目し、作品の説明からゴッホの思いを想像しながら鑑賞し、自分のお気に入りの絵を選びました。その後、ICTを使い、名画の色塗りにも挑戦しました。

黄色が微妙に違うから難しいな～。



細かいところを塗るのは難しい・・・
タッチペンを使うとうまくいったよ！



日頃から児童がどんなことに興味をもち、どんなことをしてみたいかを見取ったうえで題材計画を立てています。作品鑑賞後は、ゴッホになった気分も味わっていて表現の活動にもつながりやすい実践です。



対話による発想の広がりを造形遊びに生かした実践 国東市立安岐中央小学校

【事後実践】 つながれ、広がれ！ だんボール

児童たちは、段ボールをさまざまな形に切る活動の面白さに気付いていました。段ボール片に穴をあけ、結束バンドでつないだり、組み合わせたりして、思い付いたことを大切に、場所の特徴をいかしながら活動を広げていました。途中で鑑賞する（見合う）時には、美術館で鑑賞した時のことを思い出して、横から見たり、寝転んでみたりして見たこと・感じたことをグループで自然と交流ができていました。



個人で制作に没頭しながら、最後は友だちと協力して活動ができていました。児童たちの満足そうな表情がたくさん見られました。



活動がダイナミックなので、隣の友だちはもちろん、遠くで活動してる友だちの様子もよく見えますね。友だちの活動を見て気付いたことをどんどん自分の活動に生かしています。図画工作科だけでなく、他教科でも生きる力として、日頃から先生方が意識されているのが伝わってきます。



対話により発想を広げる実践 日田市立津江小学校

【事後実践】 ペったんコロコロ

「海の仲間たち」をテーマにして、ローラーを用いて海の様子、スタンプを用いて泡や岩を表現しました。クレヨンを用いて海の生き物を描いて切り取り、配置を考えながら台紙に貼り付けています。作品ができあがった後には、お互いの作品を鑑賞して楽しみました。



貼り方を工夫したら楽しいよ！

スタンプが泡みたいになった！ 違う色のほうがおもしろい！ 重ねたら色が濃くなった！



ローラーの使い方では、まっすぐ転がすだけでなく、傾けて太さを変えたり、曲げて曲線をつくったりと、児童どうしの会話から新しいことに自ら気付いていますね。「魚の貼り方を工夫したら楽しかった」という経験を友だちにも惜しみなく教えてあげていますね。「隣で作業をする友だちの様子が気になってしょうがない」という雰囲気や児童の思いを大切に先生方の気持ちが伝わってきます。



材料の魅力を表現意欲に繋げている実践 日田市立津江小学校

【事後実践】 たのしく うつして

紙版の方法を知って、つくりたい版を考えました。児童たちは自分が表したいことに合うように、版をつくり、工夫しながら刷って表すことができていました。切手風に仕上げた版画作品の周囲をラメ（グリッター）で装飾するなどの工夫が見られ、とても華やかな作品になりました。作品ができあがった後には、お互いの作品の面白さや表現の工夫を見付ける時間を設けて振り返りを行いました。



ラメをぬりました。友だちが、「もうちょっとラメを塗ったほうがいいよ。」と言ったので、ラメをぬったらラメがいっぱいでキラキラしていたからうれしかったです

完成してよかったです。その時、みんなに「きれいだね。」と言われてうれしかったです。



美術館の作品の画面がキラキラ輝いていた様子に児童たちが目を丸くしていましたね。どうにかしてあの素敵な作品のようにしたい！という児童たちの前のめりな気持ちが伝わってきます。児童たちが見て感じたことを表現意欲に上手く繋げている実践です。



材料から表現の可能性を広げる実践 日田市立津江小学校

【事後実践】 身のまわりの材料を使って模様をつくろう

版から刷り紙をはがした時の画面の面白さに気付き、さらに思い付いたことを、版を貼り足しながら刷って表すことができました。また、版そのものも作品として見られるほどとても美しいものになりました。



べたべたべた……
手を使って色を付けよう！
色を変えると楽しいよ！

落ち葉の形がいいな！

ゴムとローラーを組み合わせるとかっこよくなった！



版画の醍醐味は、「刷り上げてみるまでは、どうなるか分からない」ですね。児童たちが、それを同じ画面で何回も繰り返すことで、どんどん版画の魅力に引き込まれている様子が伝わってきます。スタンピングで使った身近な葉っぱなども、使った後にみみると……とてもかわいらしい作品にも見えてきますね。



表現と鑑賞を相互に関連させた実践 日田市立津江小学校 4～6年

【事後実践】 この筆あと どんな空？

表現技法をまねたり、自分なりの表し方をしたりして、「空」を描く中で、筆跡や絵の具の使い方を見て、違いやよさを味わっていました。活動を通して児童たちは「にじみ」「濃淡」「色の重なり」「彩度」「明度」「特徴的な筆使い」等のよさを発見することができました。



作者の気持ちが表れているように感じます。

Aさんの空は、Aさんらしい明るい空になっていると思いました。

Cさんの空は面白い。二つの空がCさんの気持ちを表しているのかなと思いました。(Cさんの回答) ぼくの心の空を表してみました。



児童たちは、有名な画家のタッチや表現方法を見て、作者が表したかったことへ思いを馳せることができますね。本物の作品を間近で見た経験があるからこそ、筆跡から「作者の思い」にまでたどり着くことができます。様々な表現技法を使い、「自分なりの空」を表現するまでを鑑賞で扱っており、表現と鑑賞を「表したい思い」でつなげた実践と言えます。



対話による発想の広がりを生かした実践 杵築市立豊洋小学校

【事後実践】 石を観察し、見えた形に変身させよう

奈多海岸から拾ってきた手のひらサイズの石をよく観察し、作品のイメージがわいてきたら石に色を塗って表現しました。生き物だったり乗り物だったり、見えてくる形は様々で、できあがったストーンアートを見せあいながら、感想を伝え合いました。



デコボコしていた石も、やすりで磨いたらきれいになるんだ～！

「 TENTウムシに見えるよ。」
「わたしは丸まった猫に見える」



色んな見方や感じ方、色んな発想ができる題材にすることで、自己表現を苦手とする児童も安心して感じ取ったことを形や色として表現ができていますね。また、地元の海岸にある、普段気にもとめない「石ころ」を材料にすることで、児童にとって表現の可能性が一層広がったのではないのでしょうか。



材料のもつ力を生かした実践 日出町立川崎小学校

【事後実践】 だろだろカッチン

教科書の作品を鑑賞した後、表したい形のイメージをもち、作品づくりをしました。布やいろいろな材料を組み合わせた形を液体粘土で固め、布に色を塗ったりさまざまな材料を組み合わせたりして、自分の想像した世界に合う感じに工夫しました。



「海の水族館」

色のこさや、季節の色を工夫しました。紙ねん土で作る人が魚をつているようにしました。

液体粘土を固めるための土台は、新聞紙を何枚も重ねて高さを出しました。水族館の水そうのようにさんごやわかめを紙ねん土でつくってかざりました。



「ふしぎな山のふもとで魚つり」

布や綿、段ボールなど、たくさんの材料を使って活動していますね。多くの材料を準備して、児童の発想を刺激しています。「表したいこと」は材料から生まれることもしばしばありますから、そのような環境づくりをすることが大切です。



お互いの感じ方や発想を大切にした実践 中津市立今津小学校

【事後実践】 木版画をつくろう

版画をつくる時のテーマは、「自分の夢」としました。自分の好きな動物を描いている児童や自分の夢の世界を描いている児童がいました。大きさは自由で各々の技能やイメージに合わせて制作できるようにしました。制作後には児童たちは自分の作品に満足していました。鑑賞の場では、互いの良さを認め、友だちの考えに驚き、共感し、ほめ合う姿がたくさん見られました。



〇〇さんのここがいいな。ぼくも参考にしてみよう！

〇〇くんほめられた！うれしい！図工の楽しさが初めてわかった！



美術館では、少人数で班をつくり、作品についてお話ししながら感じたことを伝え合いましたね。その時に学んだ見方や感じ方の広がりよさをきちんと理解して活動できています。図工だけでなく、他の教科の授業や日常生活にも生きてくる力を身に付けることにつながります。



身体全体の感覚を使って鑑賞する実践 宇佐市立四日市南小学校

【事後実践】 からだでかんしょう

一つの絵画をみんなで鑑賞し、気が付いたことなどをロイロノートに書き込み、話し合いました。児童に美術作品の形を真似ることを伝え、真似たい美術作品を選ばせました。自分なりに体のポーズを工夫するとともに、友だちとの話し合いを通して、協力して、よりよい表現を追求しました。真似したポーズをロイロノートを使って写真に撮り、他のグループと共有。みんなが撮影した写真を見合い、工夫された点などについて交流しました。



細かいところも気になってきた！

真似してみると、作品を鑑賞することが楽しくなってきた！

ルノアールの作品「ピアノに向かう娘たち」のまねをしてみた感想

最初はピアノを弾いている姉妹だと思いましたが、このポーズをとったときに先生が教えているようにも感じました。ポーズをとって見ないとわからないものだなと思いました。

美術館でいろんな見方を体験しましたね。その中でも、作品に描かれている人などの真似をしてみる活動は児童にとっても人気です。身体全体を使って鑑賞することで、描かれている人やつくった人の気持ちになり、作品に一層近付くことができましたよね。



美術館で学んだ見方を生かして鑑賞する実践 宇佐市立八幡小学校

【事後実践】 友だちの絵を表現しよう

作品を見て、その作品から感じられることを音(声)や身体表現することで、作品の構図や配色、色の塗り方など、主体的に細かい部分までよく見て感じ取ろうとしていました。他教科の授業の時も、自分の気持ちを気軽に自由な見方で発表しようとする児童や友だちの意見を友だちの気持ちになって受け入れることができる児童が増えました。



近くに行ってみてみない？

実際に同じポーズをして見たら、作品に登場する人の気持ちになれるかも！



感じ取ったことをアウトプットすることでめきめきと力を発揮していきますね。そうした活動は児童の表現意欲やコミュニケーション能力の向上にもつながっていきます。児童の成長を日々楽しみにしている先生方の様子がとても伝わってくる実践です。



楽しみ方を工夫して鑑賞する実践 竹田市立荻小学校

【事後実践】 季節の版画を鑑賞し合い、表彰しよう

「春夏秋冬」の一つをテーマにして版画づくりを行い、完成した作品を鑑賞し合う活動を行い、自分だけの感じ方を大切にするとともに、お互いの表現意欲を伸ばしていくために、それぞれの作品にふさわしい賞の名前を考えて表彰し合うことにしました。



どんな「賞」をあげたら喜んでくれるかな？

黒い背景の上でたくさん色が踊っているみたい！

理由が大切だね。じっくり考えよう！

命がきらきらで賞！



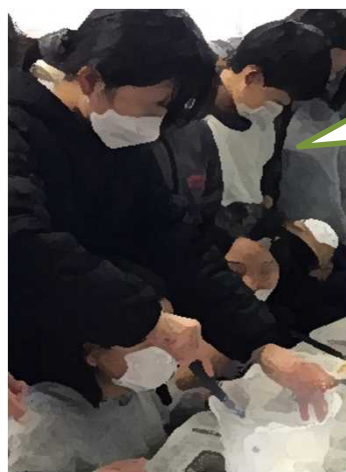
美術館の鑑賞活動では、作品に描かれているものをいろんな角度から見て、生き物に例えてみたり、物語をつくってみたりしているような楽しみ方を試しましたね。「賞をつける楽しみ方」は「賞をつける人の楽しみ」と「もらう人の楽しみ」で楽しさが2倍になっていますね。



地域の伝統体験を生かした実践 宇佐市立天津小学校

【事後実践】 鏝絵に挑戦～もりもり立体的な絵を描こう～

美術館での見学の感想を交流すると、好きな作品の話、石や貝からつくった絵の具、キラキラする絵の質感、絵の具の盛り上がり、角度で違って見える作品の話などが出てきました。そこで、普段の絵の具とは違う漆喰を使って鏝絵をつくり、立体的な絵を描くことを楽しみました。



石灰と水を混ぜると、とろとろで生クリームみたい！

うまく塗れると、すーとなめらかになって気持ちがいい！

小さくても大変だったのに、あんな大きなのをつくれる職人さんはすごいと思った。



児童たちは、これからいろんな作品を見た時に、作品の外側だけでなく、作品の内部や「どうやってつくられたのか」まで考えが及んで、見方や感じ方に深まりが出てくると思います。地域の伝統的な造形を体験できる児童たちはとても幸せですね。



地域の美術館で鑑賞体験した実践 臼杵市立南野津小学校

【事後実践】 臼杵巡回展を楽しもう！

臼杵市民会館において、県美展・臼杵巡回展で出品されている作品を鑑賞しました。児童たちは県立美術館でガイドさんに教えてもらった「作品の楽しみ方」を使って、鑑賞活動を楽しんでいました。また、3つの約束を守ってみんなで楽しく鑑賞できました。

前だったら「何これ」と思っていたものもあったけど、見方を習ったので、「どんなことを表そうとしているのかな」「何で描いたのかな」と想像できました。

この前はガイドさんと作品についてお話したけど、今日は友だちどうしてお話しました。自分たちだけでも楽しむことができました！



「自由に表現してよい」「鑑賞した相手がいろいろな見方をしてくれるのはうれしい」という安心感をもって、その後の表現活動にも取り組めていました。

美術館で体験したことを地域の美術館で実践しています。ガイドさんがいなくても同じ班の友だちといろんな見方や感じ方を楽しむことができます。このような取組がもっともっと増えるといいなと思います。



学びのつながりを大切にした実践 別府市立鶴見小学校

【事後実践】 地元の素材のよさをミサンガづくりに生かそう

七島藺がミュージアムでも大切にされているのを知り、自分たちが育てた七島藺で作品を作りたいと考えるようになりました。そこで、講師呼び、今まで総合的な学習の時間で取り組んだ、血の池地獄の泥染めと、藍染めの糸、七島藺を利用してミサンガを作りました。



児童自身が育てたものでミサンガをつくれたので、夢中になっていました。大切に家に持って帰り、家族に活動の内容を伝えた子がたくさんいました。

総合的な学習の時間に学んだことを図工に生かす。図工で学んだことを他教科に生かす……。児童は、「学ぶことの意義」を理解し、主体的な姿になっています。学校での学びをつなげて、児童の意欲を高めたいという先生方の気持ちが伝わってきます。



体験したことをより深い理解に繋げる実践 竹田市立直入小学校

【事後実践】「私のいち推し！」を紹介しよう

一人ひとりが「いち推し」の作品について、ロイロノートにまとめて「私のいち推し！」をみんなの前でプレゼンテーションしました。その後、スライドを印刷したものを廊下に掲示し、全校の児童にも見てもらいました。配色や構成などに工夫が見られ、紹介する言葉にも、その子らしさやこだわりを感じました。



どうやったら映えるか、配色やレイアウトを考えたよ！



ICTを使って、美術館で体験したことを友だちに説明するためにまとめています。人に説明するために自分の考えをまとめることで体験したことへのより深い理解へとつなげています。作品や建物の写真を検索する中で、他の美術館への興味も湧いてきたのではないのでしょうか。



美術館での体験を表現意欲に繋げている実践 竹田市立直入小学校

【事後実践】木版画じ たけたん宣伝！（木版画で 竹田の宣伝！）

OPAM の鑑賞活動以来、児童たちの、表現活動への意識が高まるとともに、鑑賞活動の際の視点が広がりました。事後実践では竹田の魅力が伝わるような版画の作品をつくりました。色んなことについて、友だちと相談し合いながら制作していました。



どうすればにぎやかな感じになるかな？お花の数や濃さ、向きはどうしようかな？どこに置こうかな？



キレイな水にするにはどうすればいいかな？何色と何色を組み合わせようかな？

作品が完成した後の鑑賞会では、色合い、構図、テーマなどについてお話しが盛り上がっていました。今までよりも深まりのある感想の出し合いが行われるようになりました。

どうすれば美味しいシイタケの感じが出るかな？どんな工夫が考えられるかな？

児童どうして自分の「表したいこと」について交流した後に、もっと「表したいこと」に近付けるために相談しています。美術館の鑑賞活動では、考えを伝え合うことで新しい発見がありましたね。対話をすることで考えが広がったり、深まったりすることの楽しさを実感することができます。



鑑賞活動後の児童の感想

心に残った作品はどんな作品でしたか。

竹のカゴを見ているときに、自分のからだを動かしたら光のようなものが見えました。高山さんの作品の中には手で一部をかくしたとたんに悲しい絵になる作品がありました。（竹田市立荻小学校）

http://opamwww.opam.jp/collection/detail/work_info/604



犬が森の中の広場で、何かしている絵が心に残りました。月の下でダンスをしている感じがしたので、「月のダンス」という題名を考えました。（日田市立若宮小学校）

http://opamwww.opam.jp/collection/detail/work_info/4517



赤ちゃんがお母さんを選んでいるみたいな絵が心に残りました。絵の上にある白い線はお母さんの怒ったときや優しくしてくれたときを表しているみたいでした。（日田市立津江小学校）

http://opamwww.opam.jp/collection/detail/work_info/86



引率の先生の感想

「こっちから見ると○○」等の発言があり、色々な視点から作品を見ることができていました。自分勝手な行動ではなくて、作品にひき寄せられるように作品に近付いて見ている児童がいました。それだけ様々な作品に関心が湧いたのだと思いました。

「これいいな。好き！」「お家に飾りたい！」「すごい！やってみたいな。」「あと1時間欲しい！」等の発言が素敵でした。日頃、多くの美術作品に触れることがないので、よい機会になりました。私自身もアートって楽しいなと思いました。

令和4年度ミュージアムを活用した美術教育実践事業に係る 感染予防対策

	対策
実施前	<ul style="list-style-type: none"> ● 実施計画 異なる学校が同時時間帯に重ならないような実施計画を作成 ● 班編制 一班5人以下に設定 ● 送迎バス 児童同士の間隔を空けるために2席に一人が座れるようにバスを増便 ● 児童・引率教員名簿の提出 感染が発生した場合に備え、児童・引率教員の名簿（バス運行計画書内の名簿）を提出
当日	<ul style="list-style-type: none"> ● 検温 美術館入り口にて児童・引率教員の検温と手指の消毒 体温が37.5度以上ある場合は入館できない。入館できなかった児童がいる時のために、参加校は児童待機車両を一台準備 ● 全員マスク等の着用 児童、引率教員等は全員マスクを着用 ● 研修室の利用 密を避けるために30人以上の学校は、はじめの会や振り返りアンケート等は班ごとに広い空間で行う。 ● 水筒の持参 館内にあるウォータークーラーは使用禁止。水筒を持参 ● 鑑賞時の間合い コレクション展示室に入る班の数については、時間差を付けて少数班で入室
実施後	<ul style="list-style-type: none"> ● 研修室の消毒 使用した研修室は毎回消毒

令和4年度ミュージアムを活用した美術教育実践事業 参加校一覧

月	日	曜	AM 10~12 PM 13~15	市町村名	学校名
7	7	木	AM	津久見市	堅徳小学校
			AM	宇佐市	天津小学校
7	8	金	AM	由布市	挾間小学校
			PM	由布市	挾間小学校
8	30	火	AM	佐伯市	明治小学校
9	1	木	AM	杵築市	山香小学校
9	2	金	AM	日出町	豊岡小学校
9	22	木	AM	中津市	和田小学校
9	29	木	AM	宇佐市	宇佐小学校
10	3	月	AM	杵築市	豊洋小学校
10	6	木	AM	竹田市	直入小学校
10	7	金	AM	国東市	安岐中央小学校
			PM	大分市	野津原小学校
10	14	金	AM	宇佐市	八幡小学校
10	18	火	AM	中津市	今津小学校
10	21	金	AM	宇佐市	四日市南小学校
10	25	火	AM	日出町	川崎小学校
10	27	木	AM	中津市	豊田小学校
			PM	竹田市	荻小学校
10	28	金	AM	臼杵市	南野津小学校
10	31	月	AM	宇佐市	長峰小学校
11	1	火	AM	別府市	鶴見小学校
11	4	金	AM	日田市	若宮小学校
11	10	木	AM	日田市	津江小学校
2	10	金	AM	佐伯市	上堅田小学校